

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '岩瀬桜川運動公園管理運営事業' and '生涯スポーツ活動の振興'.

Section (1) 事務事業の概要. Includes ① 事務事業の概要 (概要、所在地、市民がスポーツを実践する活動拠点となる) and ② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (施設の維持管理、委託契約、安全管理).

Section (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Includes ① 手段 (貸出日数、保守点検件数), ② 対象 (人口), and ③ 意図 (利用者数).

Section (3) 投入量 (事業費) の推移. Table showing financial inputs for 29, 30, and 01 degrees, including 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, and 正規職員従事人数.

Table comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円) across categories like 11 需用費, 12 役務費, 13 委託料, 14 使用料及び賃借料, 15 工事請負費, and 16 原材料費.

Section (4) 当該年度の実施内容. Table with columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a note about recording content by fiscal year and a list of main activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	岩瀬桜川運動公園管理運営事業	事務事業No.	20402000087	所属課	スポーツ振興課
-------	----------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 岩瀬桜川運動公園の建設に伴い、昭和55年度から施設の利用が開始された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 軟式野球専用球場として市内の社会人野球や少年団活動に利用されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	運動場の維持管理を行い、市民がスポーツを楽しむことができるようになることで、「生涯スポーツ活動の推進」「市民がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来る」に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	老朽箇所があり、市民が安心して利用するための安全確保を保ちながら管理を行っているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	現在でもほとんど事業費をかけていない。維持管理のための常駐者はいない。老朽箇所改修のための事業費を要求しているところである。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担の原則に基づき見直しを行い、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。無駄なく施設の利活用ができるよう利用調整の密度を上げる。																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		○	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下		○	×														
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ④ コスト削減優先度評価結果																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>